

試験成績書

No.22-010383

2022年 1月25日

ユニタスファーマーイースト株式会社 御中

〒533-0014

大阪市東淀川区豊新3-12-23

株式会社 ユニオンバイテック

TEL 06-6327-8451

FAX 06-6327-5785

殺菌効力試験結果

1. 検 体

2022年1月12日依頼 計2点(12/24受取)

リゲソフクリナープラス

ホムクリナー

2. 試験方法

(1) 試験菌(計2種)

Escherichia coli

NBRC 3972

(大腸菌)

Staphylococcus aureus

NBRC 13276

(黄色ブドウ球菌)

(2) 試験菌液の調製

E. coli, *S. aureus*

試験菌を、SCD寒天培地で30℃、24時間前培養する。前培養菌を滅菌生理食塩水に懸濁し、約 10^8 個/mLに調製したものを試験菌液とする。

(3) 試験操作

検体19.8gを滅菌バリエル瓶にとり、試験菌液を1%量(0.2mL)接種する。これを25℃の恒温器で保存し、(4)項に示した規定の作用時間後にその1gを採取して、LP希釈液^{注1}9mLで希釈する。この希釈液をさらに段階希釈し、寒天平板混釈法により生菌数を測定する。

なお対照として、滅菌生理食塩水についても同様に操作し、接種直後および規定時間後に生菌数の測定を行う。

^{注1} LP希釈液：ホリハフト 1g、イグリンチ 0.7g、ホリルハート 80 20g、精製水 980mL

(4) 作用時間

検体：30秒、1分、5分

対照：接種直後、5分

(5) 生菌数の測定培地および培養条件

E. coli, *S. aureus*

SCDLP寒天培地、30℃、3日間。

3. 試験結果

〈表〉 殺菌効力試験結果

試験菌	検体	作用時間と菌数値 (個/g)			
		接種直後	30 秒	1 分	5 分
<i>E. coli</i> (大腸菌)	対照 (滅菌生理食塩水)	1.1×10^6	-	-	1.2×10^6
	リザ-ソフトクリナープラス	-	$< 10^1$	$< 10^1$	$< 10^1$
	ホムダクリナー	-	$< 10^1$	$< 10^1$	$< 10^1$
<i>S. aureus</i> (黄色ブドウ球菌)	対照 (滅菌生理食塩水)	1.4×10^6	-	-	1.4×10^6
	リザ-ソフトクリナープラス	-	1.0×10^4	9×10^1	$< 10^1$
	ホムダクリナー	-	9.0×10^3	1.1×10^2	$< 10^1$

2/2

4. まとめ

各検体の試験条件下における、最大の殺菌率 (%) とその作用時間は下表の通りであった。

試験菌	試験液	作用時間	殺菌率 (%)
<i>E. coli</i>	リザ-ソフトクリナープラス	30 秒	> 99.99
	ホムダクリナー	30 秒	> 99.99
<i>S. aureus</i>	リザ-ソフトクリナープラス	1 分	> 99.99
	ホムダクリナー	5 分	> 99.99

以 上